

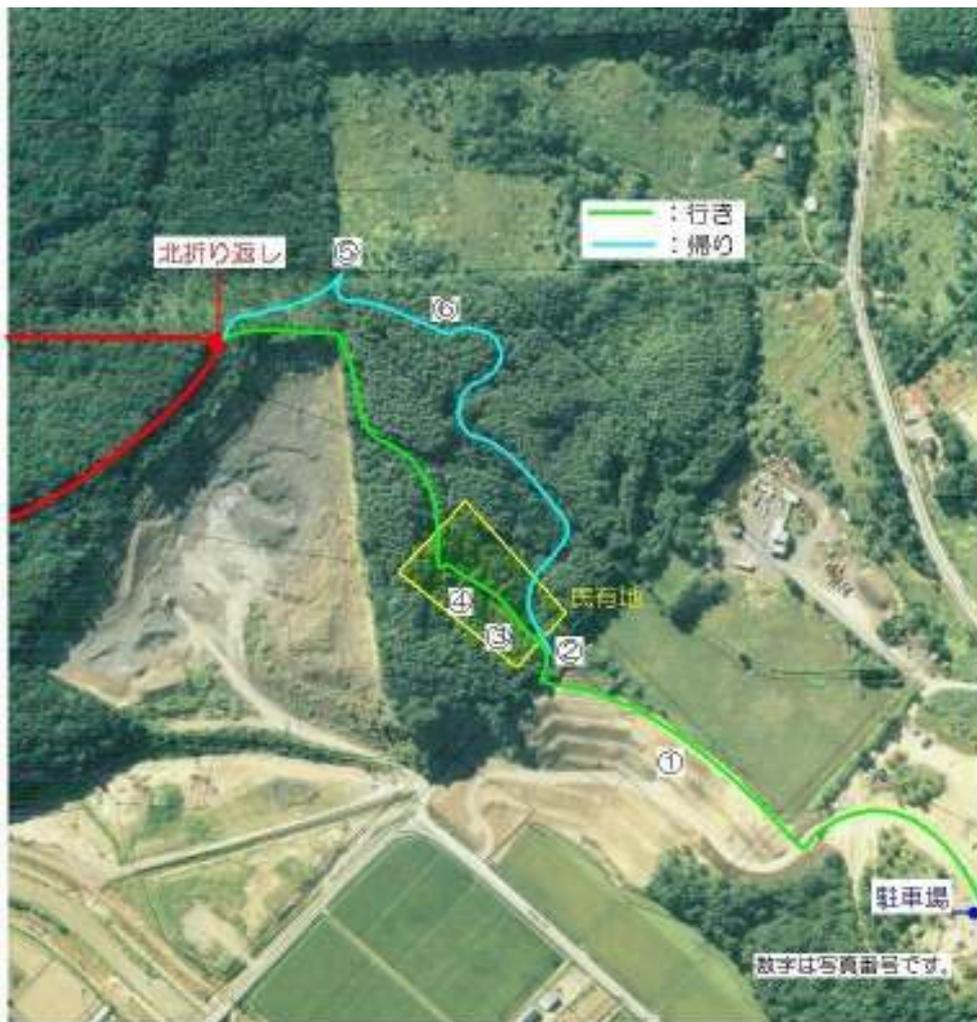
2 - (1) 比布町側の出入り口、および遊歩道について
7月の現地調査報告

■現地調査

2010年6月14日の協議会で、比布町側の出入り口、および遊歩道について検討されました。過去に村上山公園付近から突哨山へとつながるルートがありましたが、現在は出入り口付近が民有地のため、また道がわからなくなっているのもあり利用は不可能となっている状況でした。そこで、村上山公園からのルートに詳しい方を同行していただき、7月に現地調査をすることになっていました。

2010年7月3日に、協議会のメンバー（桐さん案内役、出羽さん、舟橋さん、沢田さん、黒川さん）と清水で比布町側のルート調査を行いました。出入り口付近は民有地ですが、他に入山可能な出入り口が見あたらないため、今回は民有地の一部を通行しました。

踏査軌跡図



■ルートの様子（数字は地図上の番号を表しています。）

	
<p>① 出入り口前の道の様子。20mほど舗装されていますが、その先は草地になっていました。</p>	<p>① 比布側の出入り口へとつながる道。村上山公園の駐車場から徒歩2分ほどで着きました。</p>
	
<p>① 脇道からの長めが良く、比布町や大雪山などが一望できました。</p>	<p>② 出入り口の様子。明確な出入り口ではありませんが、草が踏まれ、土が見えているため、道の存在を確認することができました。</p>
	
<p>③ 広葉樹林。列状に生えていました。ほとんどが胸高直径 10cm ほどと細く、低い木ばかりでした。</p>	<p>③ シラカバが密生した林もありました。</p>

	
<p>④民有地にある廃屋。</p>	<p>④民有地内の様子。カラマツ、ドイツトウヒ、トドマツなどがありました。</p>
	
<p>④境界を示す杭。H14 GK4と記載されていました。</p>	<p>⑤草原の様子。脇に林道が通っていました。</p>
	
<p>⑥林道の様子。幅2m程の道が出入り口付近まで通っていました。</p>	